

緩和医療の実際

悪性腫瘍の症状

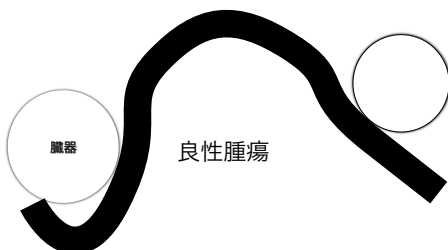
- もともとの場所による症状
- 転移による症状
- 『悪液質』による症状

良性腫瘍

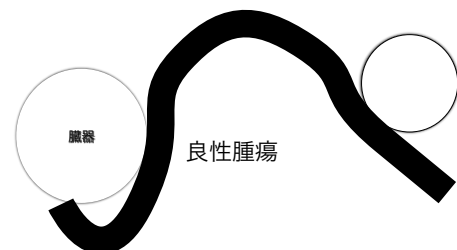
増殖と浸潤



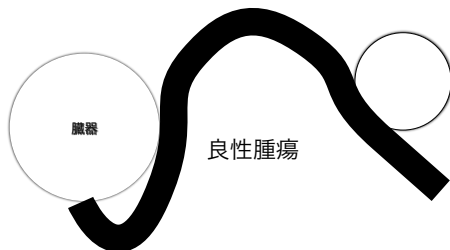
増殖と浸潤



増殖と浸潤



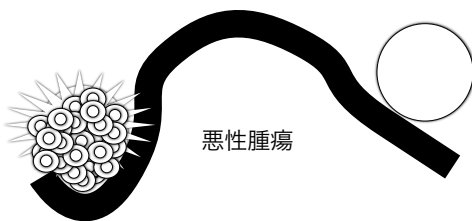
増殖と浸潤



もともとの場所で

- どんどん大きくなる
- 回りに浸潤していく
- 勝手に死んで壊れてしてしまう

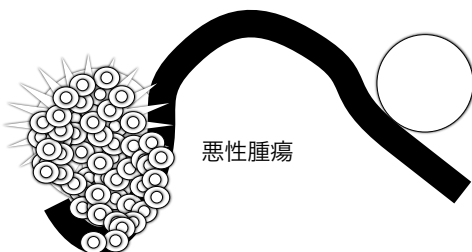
増殖と浸潤



増殖と浸潤



増殖と浸潤



転移する

- 肺、脳、肝臓、骨、皮膚などに転移
- 転移した場所で大きくなる
- 場所に応じた症状がでる

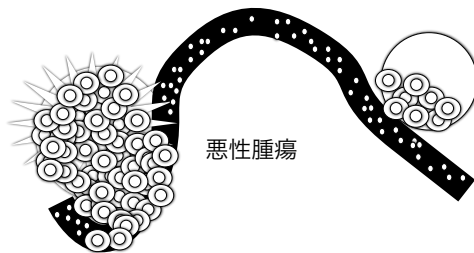
転移



悪液質で

- 必要ない化学伝達物質をどんどん作る
- そのため、肝臓がタンパク質を作らなくなる。
- 食欲がなくなり、痩せる
- 免疫が衰え、細菌にやられてしまう

悪液質



緩和医療

言葉について

- ターミナルケア
 - 現在ほとんど使われなくなった
 - 終末期に行われるケア、という意味。ホスピス・ケアとほぼ同義
- ホスピスケア
 - HOSPICEはHOTELと同語源：Hospitium もてなす事
 - ホスピスの元は行路人を保護した修道院などの施設でローマ時代から存在
 - 死にゆく人々のためのホスピスは1879年 ダブリンのセント・ビンセント病院が最初
 - 1967年 セントクリストファーホスピスをシシリーソーンダース女史が開設し現代的ホスピスが始まる。

17

言葉について

- 緩和ケア：Palliative Care
 - Hospiceという言葉が救貧院を連想させることから使われるようになった
 - ホスピス・ケアとほぼ同義
- End-of-Life-Care 終末期ケア
 - さらに意味は広く、どちらかというと緩和医療や認知症など包括した人生の終末期の関わりという意味が大きい。在宅での看取りはこの語がもっともぴったりくる。

18



Marie Curie Center



23

OurLadysHospice



24



ホスピスケアの基本的考え

ジシリー・ソーンダース

- ・ 患者は治癒を目指した医療ではなく、安楽をもたらすケアを必要としていること
- ・ 安楽をもたらすケアは症状緩和、特に痛みの緩和が中心であること
- ・ ケアが学際的なケアチームによってなされること
- ・ 患者と家族の社会的・心理的なニーズに応じた個別的なケアを行うこと。

希望について

- ・ いまよりも何かが良くなること、そこに希望が生まれる
- ・ 命が延びることだけが希望ではない

痛みをとる

WHOステップラダー



© Kinastu Uno Steps Oncology

痛みに使う薬の種類

大きく分けて3つ

- 解熱鎮痛薬
 - NSAIDs (エヌセイド)
 - アセトアミノフェン
- 麻薬
- 神経を鈍くする薬

解熱鎮痛薬

- 痛みを起こす物質を作らなくする
- プロスタグランジンの産生阻害作用
- 副作用：胃潰瘍、腎機能障害
- ボルタレン、アスピリン、イブプロフェン、ポンタール、セデス、インドメタシン、ロキソニンなど

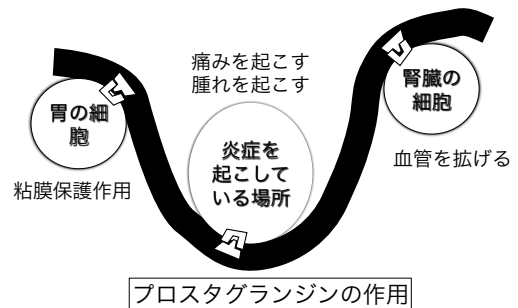
解熱鎮痛薬

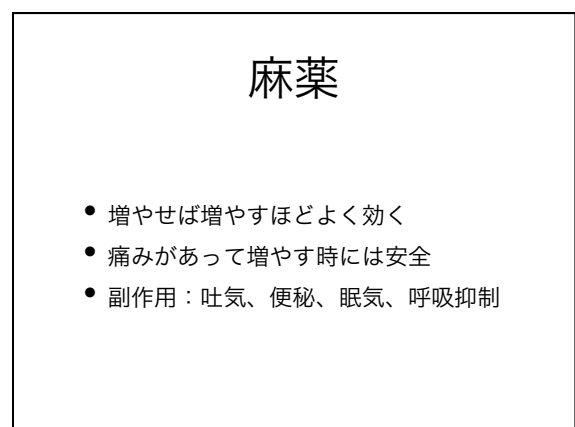
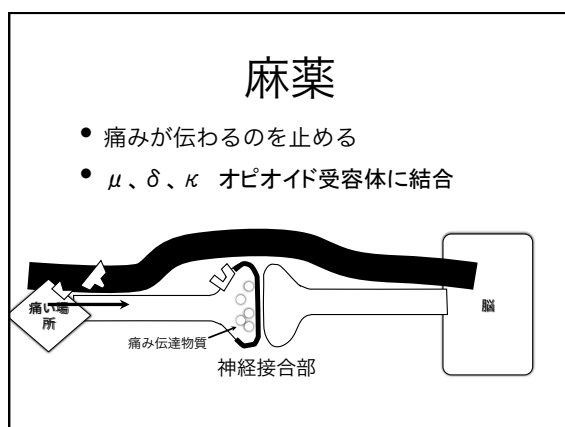
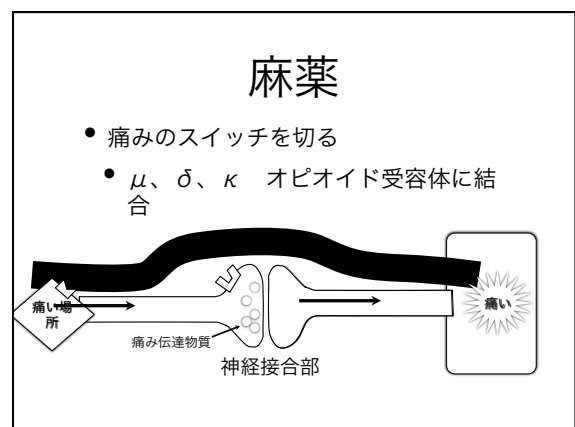
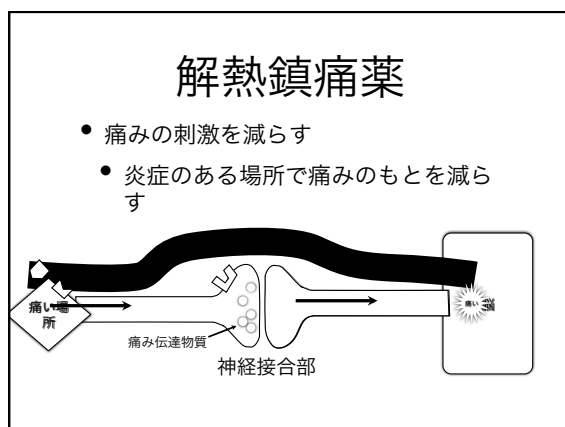
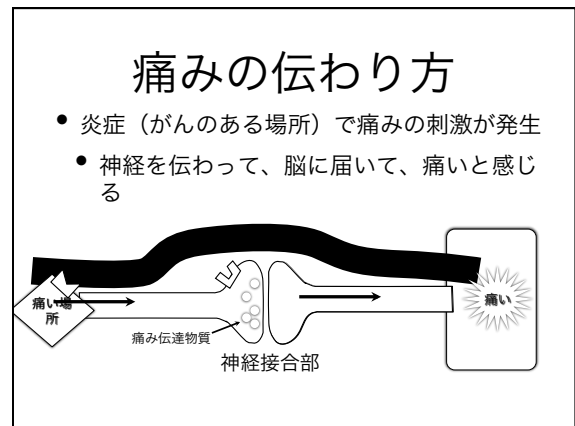
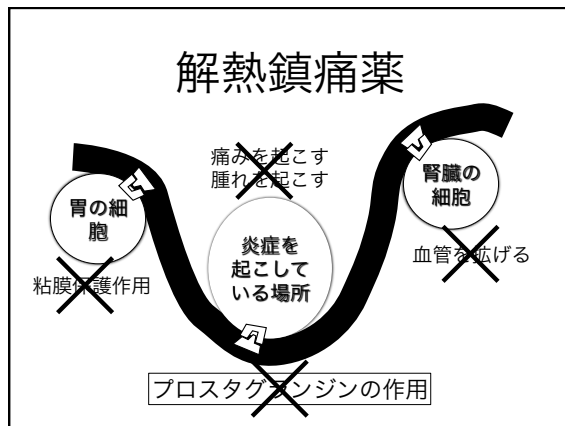


解熱鎮痛薬



解熱鎮痛薬





麻薬は3種類

- モルヒネ
- オキシコドン
- フェンタニル

麻薬

- 飲み薬
 - オプソ（モルヒネ水）、オキノーム、MSコンチン、オキシコンチン、カデียนカプセルなど
- 貼り薬
 - デュロテップパッチ、フェントステープ
- 座薬
 - アンベック座薬

いろんな麻薬



その他の症状

- 吐き気
- 息苦しさ
- 食べられない
- だるい

吐き気

- 麻薬の副作用
- 腸がつまってしまった

吐き気で医師がすること

- 点滴
 - 脱水予防
 - 薬を投与するため
- 吐き気どめの薬の処方
- 胃の中の物を外に出す

息苦しい

- 酸素が低い
- 肺が膨らまない
- 不安が強い

息苦しい人に 医師がすること

- 麻薬の処方、増量
- 安定剤、睡眠剤の処方
- 酸素の投与

息苦しい

- 酸素が低い
- 肺が膨らまない
- 不安が強い

息苦しい

- 酸素が低い
- 肺が膨らまない
- 不安が強い

息苦しい人に 介護者ができること

- 見えるところに居る
- 窓を開けるなど風通しを良くする
- 安心できるように声をかける

食べられない

- 主な原因は悪液質
 - 食べても利用できないことが多い
 - いつも満腹のような状況

食べられない人に 医師がすること

- ステロイド剤の処方
- 場合によって脱水予防の点滴
- 人によっては中心静脈栄養

食べられない人に 介護者ができること

- 食事の工夫
 - 小分けにする
 - 味の工夫：酢の物や麺類など
 - どんな時間にも食べられるように準備する
- 無理に食べると言わないこと

だるい

- 全身衰弱の症状
- 悪液質の症状
- 感染症による症状
- 電解質異常による症状
- 多臓器不全による症状

だるい人に 医師がすること

- ステロイド剤の処方
- 麻薬の処方
- 鎮静
- マッサージの依頼

だるい人に 介護者ができること

- 体位変換
- かるいマッサージ

